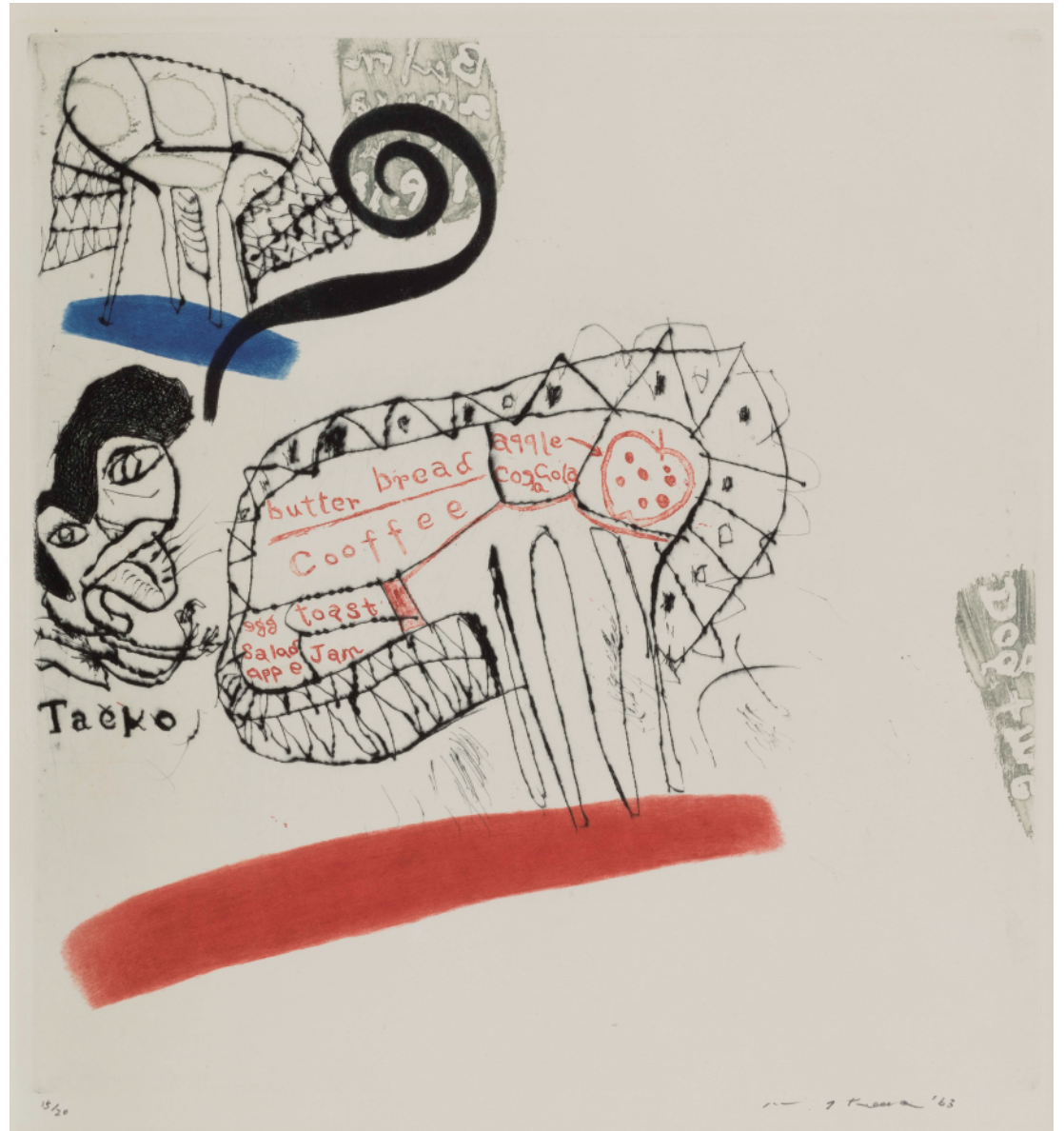


とびたらしめ

Moments to Fly Up Ikeda Masuo and the Demokrato Artists



池田満寿夫《タエコの朝食》1963年 ドライポイント、ルーレット、エッチング 当館蔵

池田満寿夫とデモクラートの作家

2023
9/9^土—11/5^日

開館時間：9:00—17:00(展示室入場は16:30まで) 休館日：水曜日

会場：長野県立美術館 展示室1・2・3

観覧料：一般800(700)円、大学生及び75歳以上600(500)円

高校生以下又は18歳未満無料 ※()内は20名以上の団体料金

※本館コレクション展および東山魁夷館との共通料金：一般1,300円、大学生及び75歳以上900円

※割引の併用不可 ※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と、付き添いの方1名は無料

主催：長野県、長野県立美術館

共催：長野県教育委員会 協力：広島市現代美術館、和歌山県立近代美術館

後援：長野市、長野市教育委員会、長野商工会議所、善光寺、長野県芸術文化協会、長野県美術教育研究会、(公財)八十二文化財団、(公財)ながの観光コンベンションビューロー、JR東日本 長野支社、信濃毎日新聞社、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、FM長野、INC長野ケーブルテレビ

NOM 長野県立美術館
Nagano Prefectural Art Museum

〒380-0801 長野県長野市箱清水1-4-4
Tel. 050-5542-8600(ハローダイヤル)
<https://nagano.art.museum>

諸般の事情により、会期等に変更が生じる場合があります。
最新情報は美術館ホームページをご覧ください。

池田満寿夫が1997年に亡くなって四半世紀が経ちました。彼の版画作品がどれほどまでに世界で評価され、また彼が芸術家としての道をいかに情熱的に歩んだか、今日あらためて問いかけることには大きな意味があると思われます。

池田満寿夫は、1934年に旧満州国・奉天で生まれ、終戦の年に父母と共に長野に引き揚げました。高校を卒業後、画家を志して上京し、東京藝術大学を3回受験するも失敗。そうした頃、1955年に愛蔵に出会い、彼を通じて、デモクラート美術家協会を創設した瑛九や美術評論家の久保貞次郎を知ることになります。

デモクラートの作家たちは多くの人に見てもらえる版画の制作に力を入れ、瑛九のすすめを受けた池田も若手のひとりとして、その活動に参加しました。そして泉茂や吉原英雄、加藤正らとの交流を深め、自身も久保の後援により銅版画の制作に打ち込んでいきました。

戦後、国力を回復してきた日本は、初の国際現代美術展として1957年に第1回東京国際版画ビエンナーレ展を開催します。池田のほかデモクラートの多くの作家たちが同展に出品、入選し、彼らの飛躍のきっかけとなった一方、瑛九は同年にデモクラートの解散を決めます。以降も若い作家たちは版画の可能性を拡張する旺盛な活動を見せ、なかでも池田は1966年のヴェネチア・ビエンナーレで版画部門国際大賞を受賞するなど、国際的な評価を受けて脚光を浴びていきました。

本展では、1950年代から1966年頃までの池田満寿夫の作品とともに、池田が影響を受け、また交遊のあった作家の作品を紹介し、当時世界を席卷した日本の版画を振り返ります。

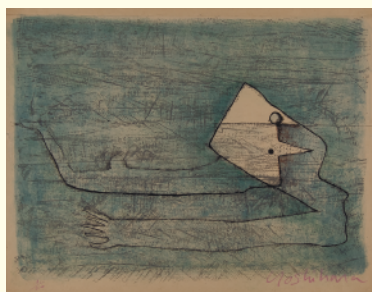
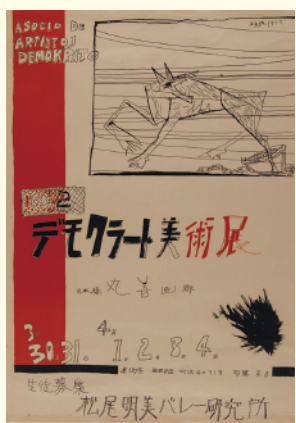
とびたつとき



池田満寿夫《愛の瞬間》1966年 ドライポイント、ルーレット、エングレーヴィング 当館蔵

池田満寿夫とデモクラートの作家

Moments to Fly Up Ikeda Masuo and the Demokrato Artists



関連イベント情報:

■講演会

「版画との出会い—池田満寿夫さんの思い出」

日時: 9月10日(日) 14時~15時30分

講師: 山本容子(版画家)

会場: 本館B1Fホール

定員: 100名(先着順、当日整理券配布、参加無料)

■対談

「同級生が語る満寿夫像」

日時: 9月30日(土) 13時30分~15時

講師: 荒井一章(不忍画廊会長、長野高校OB)

木内真由美(長野県伊那文化会館学芸主任)

会場: 本館3Fレセプションルーム

定員: 40名(先着順、当日整理券配布、参加無料)

●担当学芸員によるギャラリートーク

日時: 10月15日(日) 14時~

会場: 展示室1・2・3(要観覧券)

●おとなアートラボ

銅版画の技法やプレス機を使って、版画作品をつくりましょう。

日時: 10月9日(月・祝) 13時30分~16時30分

講師: 長野県立美術館スタッフ

会場: 本館3Fレセプションルーム

定員: 10名(参加費: 500円)

申込: 9月16日(土)より当館HP応募フォームにて受付

※汚れてもいい服装でお越しください。

- 1-加藤正《第2回「デモクラート美術展」ホスター》1953年 リトグラフ 和歌山県立近代美術館蔵
- 2-瑛九《旅人》1957年 リトグラフ 和歌山県立近代美術館蔵
- 3-泉茂《闘鶏》1957年 リトグラフ 和歌山県立近代美術館蔵
- 4-池田満寿夫《真昼の人々》1955年 油彩、キャンバス 当館蔵
- 5-池田満寿夫《退屈な時間》1955年 油彩、キャンバス 広島市現代美術館蔵
- 6-利根山光人《子供のいる風景》1957年 リトグラフ 和歌山県立近代美術館蔵
- 7-吉原英雄《潜水人》1957年 リトグラフ 個人蔵
- 8-饒暉《田園》1956年 リトグラフ 和歌山県立近代美術館蔵

■アクセス

※長野県立美術館には一般来館者のための駐車場はございません。併設の東山魁夷館北側の駐車場は、大型バス、障がいのある方など信州パーキングパーミット制度にて指定の専用駐車場です。一般の方は、公共交通機関のご利用を推奨いたします。

【公共交通機関】

- ① JR長野駅善光寺口バス乗り場①から、アルピコ交通バス11系統 善光寺経由 宇木行、16系統 善光寺・若槻団地経由若槻東条行、17系統 善光寺・西条経由若槻東条行で「善光寺北」下車(所要時間約15分)。バス進行方向徒歩約3分。
- ② JR長野駅善光寺口バス乗り場①から、善光寺行き「びんずる号」で「善光寺大門」下車(所要時間約13分)、表参道を善光寺本堂方向に歩き、本堂を右方向、城山公園へ徒歩約10分。土日祝日は「城山公園前」下車。
- ③ 長野電鉄「善光寺下駅」より徒歩約15分。

長野県立美術館
Nagano Prefectural Art Museum



〒380-0801 長野県長野市箱清水1-4-4
Tel. 050-5542-8600(ハローダイヤル) <https://nagano.art.museum>

